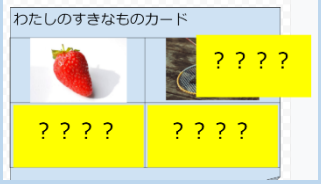
本時版「ICT を活用したまなび」授業実践

教科	外国語活動	学年	小学校3年
単元名 (教材名)	What's this? (Let's Try 1 文部科学省)	時	第 2 時(全3時間)
本時の 目標	自分の好きなものに関するクイズを出したり答えたりする。		

	学習活動	ICT 活用
1	○前時の復習をする。 前時に扱った"What's this?" "It's～." について、デジタル教材を提示しながら振り返る。	1【大型提示装置】 デジタル教材を提示する。
2	○クイズの答えやヒントをまとめる。 相手に自分の好きなものを考えてもらうためのヒントを三つ考える。ヒントを考える際には、今まで習った英語をできるだけ使用する。	3【学習者用端末】 Google ドキュメントを用いて、クイズの答えやヒントを表にする。
3	○教員の対話のモデルを聞く。 教員から英語での対話のモデルを聞くとともに、Jamboard の使用法についても聞き、やり取りをする際のモデルとする。 (相手が分からない様子であれば、答えの画像が少しずつ見えるようにするなど。)	3【大型提示装置】 例となる Jamboard を提示する。
4	○Jamboard を用いて、すきなものカードを作成する。	
5	○作成した Jamboard を用いて、クイズ形式でやり取りをする。	4【学習者用端末】 各児童に Classroom を通して Jamboard を配付する。児童は画像検索をしながら、すきなものカードを作成する。
6	○本時の学習を振り返る。 Jamboard を用いながら、英語で適切に質問したり答えたりできたかを確認する。	

クイズの答え / ヒント①しゅるい / ヒント② / ヒント③

いちご	くだもの	赤	春
バドミントン	スポーツ	ラケット	体育館



備　考
・各児童の Google ドキュメントのデータを教員も共有することで、各児童の進捗状況を確認しやすくなり、個別の支援を行いやすくなる。 ・児童がやり取りを行った後には、各児童が作成した Jamboard に、やり取りした相手の児童が付箋でコメントをつけることによって、良かった点や改善点を容易に知ることができる。

作成【奈良県立教育研究所】